

ジンバブエ HIV/AIDS(エイズウイルス/エイズ)対策支援活動の報告

薬剤師 東 麻美子

派遣地域:ジンバブエ

派遣期間:2003年11月~2004年6月

アフリカの大地で

地平線が 360 度見渡せる広大な緑の大地とまっすぐに伸びる赤土の道。おんぼろ自転車で走るスーツ姿の老紳士。土を巻き上げ走るトラックの荷台に乗込み、朝早く農作業に出掛ける若い男女達。カメに水を汲み頭にのせて何十キロもの距離を歩く女性達。のどかなアフリカの光景です。



アフリカの中でも、標高が高く過ごしやすい国ジンバブエは、都市の生活環境は驚くほど整っています。かつて、アフリカのスイスといわれる程、気候、治安が良く96年時点では経済成長率7%を誇る食料輸出の盛んな国でした。



ジンバブエの危機的な状況

現在(2003年)、国民の3人に1人はHIV感染者であるといわれています。アフリカという広大な土地で、どのようにHIV/AIDS感染が繰り返され、拡大してきたのでしょうか。

ジンバブエは、かつて鉱業の発展に伴い、南アフリカ、マラウイ、ザンビアなどの国から多くの出稼ぎ労働者を受け入れてきました。ジンバブエの幹線道路は南アフリカからエジプトへ、モザンビークからザンビアへと向かい、HIV/AIDSの罹患率が高い鉱山・農業地域を、ハラレを中心として

放射状に東西南北へ走ります。長距離トラックの運転手、軍人や売春婦は幹線道路を使ってさまざまな地域へ移動し、それは人や車だけでなく HIV も運ぶ結果となっています。



今やコンドーム使用による予防、HIV/AIDS に関する知識の普及、意識は出来つつあるものの、AIDS で毎週知り合いが亡くなり、一日中葬儀が行われ墓地の埋葬場所が不足する事態も起きていました。AIDS で働き手を失い飢えに苦しむ家族や、両親を失った孤児の数は増え続けています。2002 年以來、インフレ率 600%といわれている近年の経済状況の悪化、旱魃による食糧不足が重なった結果、ジンバブエ共和国は存亡に関わる危機的状況にあります。

ジンバブエの医療状況

国立病院の医師・看護師・薬剤師は皆、高収入が得られる海外へ移住し、首都のハラレの国立病院には、数年前 4000 人いた薬剤師も今や 4 人になってしまいました。当然、地方の診療所には医師・薬剤師はいません。国の政策で多くの医師・看護師・薬剤師をキューバから招き入れていますが、言葉の違いによる医療事故も増えています。

このような状況下で、診療を受けられるごく僅かな裕福な患者さんは、私立病院に行き、高い診療費と薬代を払うことができますが、多くの貧困層の患者さんは、診療費のみの支払いで、薬を無料でもらえる地方の国立診療所に行くこととなります。1ヶ月に1回、国から支給されるか、されないかのごく僅かな薬は、地方の国立診療所にとって支給されたとしても1週間でなくなってしまいます。そのため首都から来た患者さんが増加すると、その地域の住民に届くことは難しくなります。そうした環境下でエイズ患者さん達は、赤十字のボランティアに支えられ、気丈に病気と闘っています。

ジンバブエ赤十字社は、赤十字ボランティアによる地元地域に根付いた AIDS 患者訪問活動を行っています。私は 2003 年 12 月より 2004 年 6 月までの半年間、ジンバブエ赤十字の職員、ボランティアと共にこの現状に直面してきました。

薬が！

現地に入り、薬剤師としてまず目に飛び込んできたのは、倉庫に眠る雑然とした寄付医薬品の山でした。現地職員は何の薬かどのように使うかわからず持て余しています。「期限切れになる前に有効活用し、AIDS患者さんの手に届けなくてはならない。」それが私の最初の使命でした。

寄付医薬品の供給元である、デンマーク赤十字社のティルダは「赤十字ボランティアがエイズ患者さん訪問で携帯する医薬品バックは空。この状況を何とかしてほしい！」と訴えてきました。私は現地のジンバブエ赤十字社の支部職員と共に、早急に倉庫で眠っている医薬品のリストを作り在庫管理を始めました。また、現地看護師と共に医薬品の使い方や副作用のパンフレットを作り、各地方で実演と講習を行いました。

医薬品の使用頻度と薬に対する質問の急速な増加により、ボランティアの薬に対する意識が上がってきました。草の根ではあるけれど、そうした一つ一つの活動の積み重ねが、AIDSに苦しむ人々につながると信じ、最善を尽くしてきました。



そして、これから

ジンバブエの人々は小さい子供から次の世代を担う若者、そして大人たちがこの HIV/AIDS の問題を真剣にとらえ、一緒になって闘っています。私はこの経験を生かし、誰でも隣り合わせである HIV/AIDS 問題に、薬剤師として積極的に取り組んでいきたいと、思いを新たにしています。